



第10回 大阪発

保育・子育てを考える集い

～わ・た・し・再・発・見～

”こどもたちの保育を守るためには“

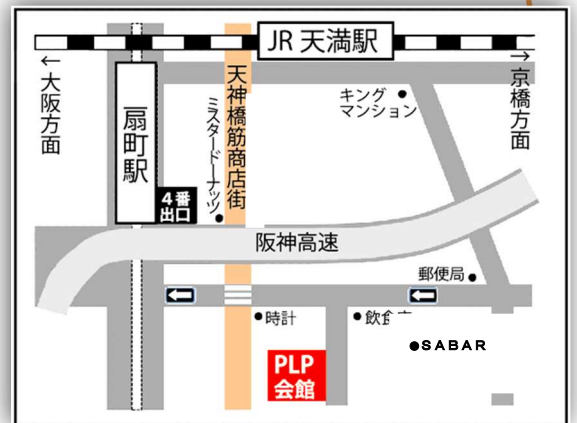


全体集会：記念講演 講師：田中 文子 氏
テーマ「こども基本法を学ぶ」
パネルディスカッション
テーマ「子どもの権利を守るための
保育の質とは」

日 時：2023年9月3日（日）10：00～
※受付開始 9：30～

場 所：PLP 会館5階 大会議室
大阪市北区天神橋3-9-27
Tel：06-6242-2233

参加費：無料（申し込み用紙は別紙）
その他：お子さんと一緒にご参加いただけます。
（一時保育は要予約）



分科会：記念講演のテーマをもとに、様々な分野で
分科会を実施します。
（詳細は裏面に記載しています）

日 時：2023年9月 3日（日）13：30～
9月10日（日）9：30～

場 所：PLP 会館（分科会毎に異なります）
その他：お子さんと一緒にご参加いただけます。（一時保育は要予約）

- 大阪市営地下鉄堺筋線 扇町駅
4番出口より徒歩3分
- JR環状線 天満駅改札口より
南側へ徒歩5分
- PLP 会館には駐車場はありません。



講 師：田中 文子（たなか ふみこ）～プロフィール～

公益社団法人子ども情報研究センター理事

1977年法人設立に事務局スタッフとして参加。事務局長、所長を経て、現在理事。主に、機関誌『はらっぱ』の編集、子どもの人権相談事業にかかわる。

学生時代に部落解放運動と出会い、「差別」「人権」を知り、それまでの社会観や歴史観、人間観が大きく変わった。若くして親になり、子どもの存在と自分自身との葛藤を日常的に抱えながら、子どもの人権に取り組むことは、いつも自分自身を問い直すことだった。人権思想を学ぶことで人間の強さ・やさしさを知り、希望がひろがったと感じている。



主 催：公益社団法人子ども情報研究センター・自治労大阪府本部
問い合わせ先（06）4708-7087 ・問い合わせ先（06）6242-2233



第10回大阪発 保育・子育てを考える集い 分科会一覧

	テーマ	内 容	講 師	開催時間	場 所
分科会A	「防災食の実践体験～自治体で取り組むときのポイント～」	地域の現場で働く職員として、非日常にも食のスキルを活かせるように防災食の体験を行います。保育所での食事が楽しい時間であるように、非日常の防災食であっても楽しい食事時間にして行きます。	辻 由起子さん (こども家庭庁参与 社会福祉士 保育士 防災士)	9月3日(日) 13:15～ 15:00	PLP 会館5階 大会議室
分科会B	「医療的ケア児と共に育つ保育と集団作り」	医療的ケアが必要な児童の保育は、保護者の就労支援のためにも児童の最善の利益のためにも公立保育所の責務となっています。しかし、まだまだ始まったばかりの制度で現場では戸惑いや不安もあるところで。今回、常磐会短期大学のト田真一郎教授にご助言をいただきながら、医療的ケアの必要な子どもとともに育つ保育の展開や集団づくりについて、「こどもまんなか」で考えていきたいと思えます。	ト田 真一郎さん (常磐会短期大学教授)	9月10日(日) 9:30～ 11:30	PLP 会館5階 大会議室
分科会C	「人材不足の中でできる安全な子ども支援～どうする人材不足、どうやる人材確保～」	学童保育現場は未曾有の人材不足となっています。その状況の中でも日々動き続ける現場で子どもの安全な居場所を提供している放課後児童支援員は限界ギリギリの状態です。 自治体によって運営も状況も異なる学童保育現場だからこそ放課後児童支援員同士の情報共有は必要であると思ひ、今回は意見交換会を中心とした分科会を開催いたします。 学童保育現場の中での楽しさ、大変さを語り合い、これからの学童保育について考えていただくと嬉しいです。	なし	9月10日(日) 10:00～ 12:00	PLP 会館4階 小B会議室
分科会D	「教室から席がなくなるのはイヤ『ともに学び、ともに育つ』大阪府独自のインクルーシブ教育、揺らぐ足元」	障害の有無にかかわらず、全ての子どもが同じ教室で共に学ぶ「インクルーシブ教育」。共生社会を築く上で欠かせないものと国際的には考えられているが、日本の教育現場では、障害のある子どもの多くが障害のない子どもと分けられているのが現状です。そんな中であって大阪府は「原学級保障」という方式で「ともに学び、ともに育つ」環境を築いてきたものの、日本でも希有な教育実践の現場が、文部科学省の一つの通知で揺れ動いています。	上田 哲郎さん (自立生活支援センター「CIL 豊中」)	9月10日(日) 13:30～ 15:30	PLP 会館4階 小B会議室